

1	事業名	成田市方面への公共交通網整備促進事業		担当課	企画空港課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 安心して暮らせる魅力的なまちをつくる				
		具体的な施策	(1) 町内、町外への交通アクセスの充実				
		項目	① 成田方面への公共交通網の充実				
		掲載ページ	32 頁	重点への位置づけ	●		
3	事業概要	成田空港の更なる機能強化により、空港関連企業で働く就業者の増加が予想される中、横芝光町への定住促進を目的に、住民ニーズの高い公共交通を充実させる施策の一つとして、町と成田市方面を結ぶシャトルバス(横芝光号成田便)の全日運行を行い、通勤、通学またはレジャーなど、住民の利便性の向上に資する施策を推進する。					
4	事業年度	令和2年度～令和7年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	地域公共交通計画策定に係る基礎調査による横芝光号成田便の利用実態及びニーズ等の現況把握を行い、利用促進策としては、スマートフォンのナビゲーションアプリである「NAVITIME」において、横芝光町へのルート検索をした際に、横芝光号成田便を移動手段の一つとして表示できるようナビタイムジャパン社と調整を行った。また、「成田空港温泉空の湯」など成田方面の各種乗車ポイントへ引き続きリーフレットを設置するなど利用促進を図った。 運行経費52,293,068円 - 運賃収入4,805,947円 = 町支出額47,487,121円 乗車人数 17,915人				
		R3年度実績	利便性向上のため、令和3年4月1日からバス内にFREE WiFiを完備した。前年度の基礎調査や利用実態等の結果を受け、町内公共交通全般を見直す地域公共交通計画を年度末に策定した。その中で、横芝光号成田便については、令和4年12月頃を目標に、成田市方面へのアクセス強化のため、1日20便から30便へ増便、また鉄道との乗り換えを考慮したダイヤ改正などを行うこととした。しかしながら、成田空港の稼働状況を鑑み、最終判断を行うこととしている。 運行経費54,358,387円 - 運賃収入5,467,071円 = 町支出額48,891,316円 乗車人数 20,407人				
		R4年度実績	昨年度末に策定した地域公共交通計画に基づき、成田空港の稼働状況を鑑みながら、公共交通会議で増便やダイヤ改正等の審議を図った結果、令和5年5月20日より30便までの暫定措置として、1日23便での運行を開始することとなった。それに伴い、新たなダイヤでのチラシの作成や既存利用者への案内など広く周知し、利用者増加や利便性の向上に努めた。 運行経費55,208,905円 - 運賃収入7,885,349円 = 町支出額47,323,556円 乗車人数 29,610人				
		R5年度実績	従来の利用促進策を継続しながら、新たに利用者を取り込むための施策として公共交通マップを作成し、利用者の増加や利便性向上に努めた。また、令和6年度より1日30便へ増便するため、成田国際空港の需要や社会情勢を鑑み、公共交通会議に図り承認を得た。併せて成田便を活用した芝山町との広域連携を増便に併せ実施することとした。 運行経費61,547,787円 - 運賃収入10,563,173円 = 町支出額50,984,614円 乗車人数 39,940人				
		R6年度実績	従来の利用促進策を継続しながら、新たに利用者を取り込むための施策の検討及び実施をし、利用者の増加や利便性向上に努めた。令和6年6月1日より1日30便で運行を開始し、併せて定期券の導入、「風和里しばやま」と「芝山中学校入口」に停留所を新設した。 運行経費88,758,892円 - 運賃収入21,202,476円 = 町支出額67,556,416円 乗車人数 79,512人				
		R7年度計画	地域公共交通計画策定に係る基礎調査により、横芝光号成田便の利用実態及びニーズ等の現況把握を行う。従来の利用促進策を継続しながら、新たに利用者を取り込むための施策の検討及び実施をし、利用者の増加や利便性向上に努める。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	48,701	48,701	47,487	47,487	空港
		3	48,664	48,664	48,891	48,891	空港
		4	56,996	56,996	47,324	47,323	空港
		5	52,602	52,602	50,984	50,984	空港
		6	70,688	70,688	67,556	67,556	空港
		7	70,688	70,688			空港
計	348,339	348,339	262,242	262,241			
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	1日あたりの往復便数【30便】	目標2		
			計画	実績	計画	実績	
		2	20	20			
		3	20	20			
		4	30	20			
		5	30	23			
		6	30	30			
		7	30				
		計	160 便	113 便	0 人	0 人	
			進捗率	70.63 %	進捗率	%	
確認方法	補助金実績報告に基づく						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)	
			評価年月日	令和3年6月24日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
		外部有識者からの意見	・通学者と通勤者の人数調査が必要	・地域公共交通計画策定に係る基礎調査により実態把握を行った。利用目的の58%が買物で、通勤は7%、通学は0%であった。現行利用者の67%が10代であった。再編計画では通勤通学の利便性を高めるようにする。		
		2	評価会議名称		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日		令和3年8月17日	
			今後の方針		事業内容の見直し(改善)	
			今後の方針の理由		意見を踏まえ今後も計画どおり進める	
		計画変更の必要性	無			
		3	評価会議名称		横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日		令和4年7月22日	
			事業の評価		総合戦略のK P I 達成に有効であった	
		外部有識者からの意見	・高齢者を意識し、例えば、人間ドック利用者向けとして国際医療福祉大学成田病院に行くルート設定などの検討 ・通勤、通学利用者の利便性向上につながる取組みの検討		通勤・通学利用者の利便性向上については、令和5年5月20日から1日23便での運行開始に伴い、ダイヤの見直しを図ることとした。今後も運行ルート等の意見を踏まえながら、利便性の向上につなげるよう検討していく。	
		4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
			評価年月日	令和4年8月17日		
			今後の方針	事業の継続		
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、持続可能な公共交通実現のために利便性向上を図りながら、今後も計画どおり進める		
		計画変更の必要性	無			
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
			評価年月日	令和5年7月7日		
事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった					
外部有識者からの意見	・公共マップにバス停降車後の交通案内を加えることを検討 ・乗降数増加に向けた調査実施の検討 ・雇用主向け従業員のバス利用動向検討	公共交通マップを作成し、バス利用者の利便性向上を図った。また、バスの満足度調査を実施し、現在の運行時間帯や運行区域の現状を把握した。今後もアンケート調査結果や利用者の意見を踏まえながら、利便性の向上につなげるよう検討していく。				
6	評価会議名称		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
	評価年月日		令和5年8月17日			
	今後の方針		事業の継続			
	今後の方針の理由		意見を踏まえ、今後も計画どおり進める			
計画変更の必要性	無					
7	評価会議名称		横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日		令和6年6月28日			
	事業の評価		総合戦略のK P I 達成に有効であった			
外部有識者からの意見	・人以外も含めた利用の検討 ・町内バス日曜運行の検討 ・移住者へ向けたPRの検討 ・速達性の検討		運行に関しては、次期公共交通計画策定の際に検討していく。乗換え検索サイトへの情報提供を継続する。また、イオン-空港間利用者へ車内広告を活用し、関係人口に繋げる。			
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				
	評価年月日	令和6年8月8日				
	今後の方針	事業の継続				
	今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める				
計画変更の必要性	無					
9	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)		
	評価年月日	令和7年6月16日				
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった				
外部有識者からの意見	・利用者駐車場の確保、運転手の不足への対策を検討すること					
10	評価会議名称		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
	評価年月日		令和7年7月16日			
	今後の方針		事業の継続			
	今後の方針の理由		意見を踏まえ、今後も計画どおり進める			
計画変更の必要性	無					
9	備考		横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
			横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	自動運転モビリティ事業		担当課	企画空港課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 安心して暮らせる魅力的なまちをつくる				
		具体的な施策	(1) 町内、町外への交通アクセスの充実				
		項目	② 自動運転モビリティ事業				
		掲載ページ	32 頁	重点への位置づけ			
3	事業概要	若年世代流出と高齢化が進んでいる地域である一方で、成田空港の更なる機能強化や圏央道・銚子連絡道の整備は周辺地域において人・モノの動きに大きく影響を与える見込みであり、高齢化による移動需要の変化、ドライバー不足問題に対応し、すべての世代にとって魅力あるまちとして選ばれるため、先端技術を活用した新しい移動サービス実現に向け、実験的に自動運転技術を活用した施策を推進する。					
4	事業年度	令和5年度～令和7年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績					
		R3年度実績					
		R4年度計画					
		R5年度実績	国土交通省の補助金を活用しながら、自動運転対応の小型電気バスを1台導入し、社会実装へ向けた実証調査を実施した。 走行ルート；横芝駅～ピアシティ横芝光（商業施設エリア）～東陽病院 運行便数：10便程度/日 走行期間：令和6年2月～3月				
		R6年度実績	自動運転バスを活用し、自動運転バスの社会実装へ向けた体制構築に向け、新たなデジタル事業（MaaS）として生体認証システムの導入等を検証する。 走行ルートを拡大検討しつつ、自動運転レベル4へ向け調査を行う。 走行ルート；横芝駅～ピアシティ横芝光（商業施設エリア）～東陽病院 + ルート拡張 運行便数：10便程度/日 走行期間：令和6年4月～3月（国庫補助期間：交付決定～令和7年2月末）				
		R7年度計画	自動運転バスを活用し、横芝駅を中心としたコンパクトシティの実現に向け走行ルートを拡大する。				
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2					
		3					
		4					
		5	158,840	110,000 国補助	159,539	159,333 国等	
		6	167,919	130,409 国補助	136,901	136,870 国等	
		7	71,755	44,000 国補助			
		計	398,514	284,409	296,440	296,203	
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	乗車人数【12,800人(累計)】	目標2		
			計画	実績	計画	実績	
		2					
		3					
		4					
		5	800	903			
		6	6,000	1,957			
		7	6,000				
		計	12,800 人	2,860 人	0 人	0 人	
			進捗率	22.34 %	進捗率	#DIV/0! %	
確認方法	自動運転バスの延べ利用者数						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日		
			事業の評価		
			外部有識者からの意見		
		2	評価会議名称		
			評価年月日		
			今後の方針		
			今後の方針の理由 計画変更の必要性		
		3	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
			評価年月日		
事業の評価					
外部有識者からの意見					
4	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由 計画変更の必要性				
5	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
6	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由 計画変更の必要性				
7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日	令和6年6月28日			
	事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった			
	外部有識者からの意見	・自動運転バスの色の検討 ・引き続き広告塔としての活用の検討			
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	他の公共交通と区別化という意味でもバスの色については検討を続ける。(ラッピングのため変更は塗装と比較すると容易) 広告塔・広告収入については先行団体を参考に要綱整備について検討する。		
	評価年月日	令和6年8月8日			
	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針の理由 計画変更の必要性	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める 無			
9	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)		
	評価年月日	令和7年6月16日			
	事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった			
	外部有識者からの意見	・小学校統合による通学バスに自動運転使用を検討 ・乗車料無料の認知不足、広報を検討 ・自動運転認知拡大に乗車プレゼントを検討 ・町事業宣伝に車両活用を検討			
10	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
	評価年月日	令和7年7月16日			
	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針の理由 計画変更の必要性	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める 無			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	駅前情報交流館活用事業	担当課	産業課				
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4	安心して暮らせる魅力的なまちをつくる				
		具体的な施策	(2)	横芝駅周辺の環境向上				
		項目	①	横芝駅周辺の環境向上				
		掲載ページ	32 頁	重点への位置づけ	—			
3	事業概要	「第1期総合戦略」期間に設置された駅前情報交流館「ヨリドコロ」について、更なる機能充実や利用環境の向上を図り、利用者数の増加を目指す。						
4	事業年度	令和2年度～令和7年度						
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会と連携し、駅前マルシェ8回、鉄道巡回展を開催し地域の魅力を発信した。 ・新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言や時短営業により閉館や開館時間の短縮を実施したが、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、ワークショップやポスター展示、飲食の提供、地域製品の販売等で来館を促し、駅前の活性化を図った。 ・ホームページ、Facebook、Instagramを活用し、観光情報や行政情報を発信した。 					
		R3年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光まちづくり協会や商工会と連携し、駅前マルシェ8回、オリンピック関連展示等を開催し地域の魅力を発信した。 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大により大規模な集客イベント実施が困難であったが、感染対策を施したワークショップや展示、飲食の提供、地域製品の販売等で来館を促し、駅前の活性化を図った。 ・ホームページ、Facebook、Instagramを活用し、観光情報や行政情報を発信した。 					
		R4年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光まちづくり協会、商工会との連携により駅前マルシェ10回及び横芝駅125周年記念を実施した。 ・地域の魅力についてホームページやFacebook、Instagram等を活用し情報発信に務めた。 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大により大規模な集客イベント実施が困難であったが、感染対策を施したワークショップや展示、飲食の提供、地域製品の販売等で来館を促し、駅前の活性化を図った。 ・R5年度から5年間の指定管理者を選定した。 					
		R5年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光まちづくり協会、商工会との連携により駅前マルシェ10回及びビールマルシェを2回実施した。 ・ホームページやSNS（Facebook、Instagram）を活用し、地域の魅力情報の発信に務めたほか、ワークショップや展示、飲食の提供、地域製品の販売等で来館を促し、駅前の活性化に務めた。 					
		R6年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光まちづくり協会、商工会との連携により駅前マルシェ10回及びビールマルシェを6回実施した。 ・ホームページやSNS（Facebook、Instagram）を活用し、地域の魅力情報の発信に務めたほか、ワークショップや展示、飲食の提供、地域製品の販売等で来館を促し、駅前の活性化に務めた。 					
		R7年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・観光まちづくり協会や商工会との連携により、地域の魅力についての情報発信力を高める。 ・待合時間におけるヨリドコロの活用による利用者数の増加やレンタルスペースの貸出促進及び各種イベント実施による駅前の活性化を図る。 ・ホームページやSNSを活用し、情報発信を強化する。 					
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)			
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源		
		2	9,248	4,624	9,247	4,450	基金	
		3	8,900	4,450	8,898	4,449	基金	
		4	8,900	4,450	9,064	4,532	基金	
		5	10,308	5,154	10,243	5,121	基金	
		6	10,308	5,154	10,380	5,031	基金	
		7	10,208	5,104			基金	
計	57,872	28,936	47,832	23,583				
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	「ヨリドコロ」利用者数【50,000人/年】	目標2	行事の開催数【50回/年】		
			計画	実績	計画	実績		
		2	42,000	26,136	30	31		
		3	44,000	35,185	35	35		
		4	46,000	38,740	40	43		
		5	48,000	34,933	45	47		
		6	50,000	38,070	50	38		
		7	50,000		50			
		計	280,000 人	173,064 人	250 回	194 回		
			進捗率	61.81 %	進捗率	77.60 %		
確認方法	入館カウンター、施設利用台帳			施設利用台帳				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月24日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	・宿泊組合ホームページとの連携 ・駐車場の検討 ・施設前の通りに面した広場の活用検討	広場にてイベント (チバザポークトレイン、タンザニア講習会)を実施した。
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業内容の見直し(改善)	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
	評価年月日	令和4年7月22日			
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			
	外部有識者からの意見	・観光大使もぐもぐピーナッツとの連携検討	観光大使もぐもぐピーナッツと連携しイベント(梅まつり、長ネギレシピコンテスト等)を実施した。		
4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
	評価年月日	令和4年8月17日			
	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針の理由	意見を踏まえ、官民連携を図りながら、今後も計画どおり進める			
	計画変更の必要性	無			
5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)		
	評価年月日	令和5年7月7日			
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			
	外部有識者からの意見	・観光ガイドブックSUISUI活用検討 ・観光大使もぐもぐピーナッツを活用した事業の検討	観光ガイドブックSUISUIを町内の小中学校生徒に配布したほか、成田空港や関連団体に配架を依頼するなど町の魅力発信に活用した。		
6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
	評価年月日	令和5年8月17日			
	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針の理由	意見を踏まえ、官民連携を図りながら、今後も計画どおり進める			
	計画変更の必要性	無			
7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
	評価年月日	令和6年6月28日			
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			
	外部有識者からの意見	・利用者増加へ向けた現状分析及び取組の検討 ・広報専門官と協力した広報実施	ビールマルシェの開催を2回から6回に増やした。また冬季のイルミネーション点灯式等新しいイベントを開催した。		
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
	評価年月日	令和6年8月8日			
	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める			
	計画変更の必要性	無			
9	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)		
	評価年月日	令和7年6月16日			
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			
	外部有識者からの意見	・町へ再来を促すPR実施検討			
10	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
	評価年月日	令和7年7月16日			
	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める			
	計画変更の必要性	無			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	未来を担う世代のための公共施設再編事業		担当課	財政課	
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 安心して暮らせる魅力的なまちをつくる			
		具体的な施策	(3) 公共施設の活用			
		項目	① 公共施設機能の再編			
		掲載ページ	33 頁	重点への位置づけ	—	
3	事業概要	「第1期総合戦略」において公共施設総合管理計画を策定しており、「第2期総合戦略」においては同計画に基づき施設の更新・統廃合・除去等を計画的に進める。				
4	事業年度	令和2年度～令和7年度				
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	町公共施設等総合管理計画を具体的に実践するため、個々の公共施設について今後の整備方針を定めた町個別施設計画（令和元年度策定）に基づき、除却に伴う設計等を実施した。 ・旧横芝行政センター他解体工事設計業務委託（8,437千円） 令和2年3月をもって閉校となった旧南条小学校について、地域の活性化や町の発展につながる取り組みに活用するため、公募型プロポーザル方式により事業者の募集を行った。			
		R3年度実績	町個別施設計画に基づき、老朽化が著しく今後の利用見込みがない施設の除却を行った。 ・旧横芝行政センター他解体工事（207,874千円） （除却施設）旧横芝行政センター、旧横芝中央公民館ほか ・旧南条小学校の活用について、公募型プロポーザルを行い業者が決定した。（令和3年4月21日） 旧南条小学校賃貸借契約の締結 相手方：株式会社運動会屋 契約日：令和3年12月10日			
		R4年度実績	町個別施設計画に基づき、除却を行った旧横芝行政センターについて、今後の利活用に向け測量業務を実施し境界を確定させた。 また、4筆に分かれたものを1筆に合筆した。 ・旧横芝行政センター用地測量業務委託（2,915千円） ・旧横芝行政センター跡地登記業務委託（484千円）			
		R5年度実績	令和4年度に個別施設計画に基づく除却を行った旧横芝行政センター跡地について、地域の活性化や町の発展につながる取り組みに活用するため、公募型プロポーザル方式により事業者の募集を行ったが応募がなかった。 ・土地家屋評価審議会委員報酬 29,900円 ・旧横芝行政センター跡地活用事業プロポーザル審議委員会委員報酬 21,600円 ・不動産鑑定手数料 498,300円			
		R6年度実績	【R6.11.21】 副町長を委員長、総務課長、教育課長、企画空港課長及び財政課長を委員として組織される「公有財産利活用、取得、処分等検討委員会」を開催し、令和8年3月に閉校予定である日吉小学校及び上堺小学校に係る「横芝光町学校等跡地活用方針」についてを審議し、承認を得た。 【R6.12.9】 「公有財産有効活用検討委員会」の下部組織となる「土地活用検討委員会」を開催し、「横芝光町学校等跡地活用方針」に基づいた活用方法（案）を協議・検討の結果、日吉小学校については、体育館は直営で社会体育施設として残し、それ以外の建物及び敷地については民間へ貸し出し方針とし、上堺小学校については、一体的に民間に貸し出す方針となり、「公有財産有効活用検討委員会」へ報告することとなった。 【R7.2.4】 「公有財産有効活用検討委員会」において、上堺小学校の活用方法を決定したが、日吉小学校の活用方法については結論が出ず、令和7年度に活用方法を決定し、直近の議会議員全員協議会時に両校の活用方法を報告。			
		R7年度計画	町個別施設計画に基づき、施設の更新等を行う。また、当計画の定期的な見直しを実施し、現状や将来の見通しに係る公共施設等の管理に関わる前提条件を整理し、現状と課題を最新に更新したうえで、必要に応じて各種事業計画の見直しを行い次期個別施設計画の策定について検討する。 また、令和8年3月末で閉校となる上堺小学校の跡地活用事業については、プロポーザル方式により広く民間事業者から提案を募集し、最優秀提案者と契約締結を行い、地域の活性化や町の発展につながる取り組みに活用する。同じく令和8年3月末で閉校となる日吉小学校の跡地活用事業については、令和7年度中に「公有財産有効活用検討委員会」において利活用方法を決定し有効活用する。			
6	事業費	計画(千円)		実績(千円)		
		年度	事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源
		2	9,713	0	8,437	0
		3	252,225	0	207,874	207,874 基金
		4	11,787	0	11,618	5,809 基金
		5	1,119	461 基金	549	273 基金
		6	67	33 基金	0	0 基金
		7	329	166 基金		基金
計	275,240	660	228,478	213,956		
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	施設の再利用、除却【2件】	目標2	
			計画	実績	計画	実績
		2		0		
		3	2	2		
		4	0	0		
		5	0	0		
		6	0	0		
		7	0	0		
		計	2 件	2 件	0 人	0 人
			進捗率	100.00 %	進捗率	#DIV/0! %
確認方法	契約の締結					

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称 横芝光町まち・ひと・しごと創生会議 評価年月日 令和3年6月24日 事業の評価 総合戦略のK P I 達成に有効であった 外部有識者からの意見 ・草刈りなど施設維持に係る地域との連携検討	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績) 旧南条小学校について、施設活用事業者が地元住民の採用をしている。また、当該小学校に通っていた小学生を対象に体育館にて卒業式を行った。
		2	評価会議名称 横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議 評価年月日 令和3年8月17日 今後の方針 事業内容の見直し(改善) 今後の方針の理由 意見を踏まえ今後も計画どおり進める 計画変更の必要性 無	
		3	評価会議名称 横芝光町まち・ひと・しごと創生会議 評価年月日 令和4年7月22日 事業の評価 総合戦略のK P I 達成に有効であった 外部有識者からの意見 ・跡地活用事業者との連携検討	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績) 旧南条小学校について、社会文化課の事業であるサバイバル体験教室で旧南条小学校を利用した。主に横芝敬愛高校の生徒らと災害を想定したワークショップや火起こしなどを実施した。(令和4年8月7日)
		4	評価会議名称 横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議 評価年月日 令和4年8月17日 今後の方針 事業の継続 今後の方針の理由 意見を踏まえ、今後も計画どおり進める 計画変更の必要性 無	
		5	評価会議名称 横芝光町まち・ひと・しごと創生会議 評価年月日 令和5年7月7日 事業の評価 総合戦略のK P I 達成に有効であった 外部有識者からの意見 ・特になし	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)
		6	評価会議名称 横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議 評価年月日 令和5年8月17日 今後の方針 事業の継続 今後の方針の理由 今後も計画どおり進める 計画変更の必要性 無	
		7	評価会議名称 横芝光町まち・ひと・しごと創生会議 評価年月日 令和6年6月28日 事業の評価 総合戦略のK P I 達成に有効であった 外部有識者からの意見 ・ニューツーリズムと併せた検討 ・南条小学校体育館の有効活用 ・駅北口、行政センター跡地の総合的検討	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績) 公有財産利活用、取得、処分等検討委員会において検討していく。
		8	評価会議名称 横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議 評価年月日 令和6年8月8日 今後の方針 事業の継続 今後の方針の理由 意見を踏まえ、今後も計画どおり進める 計画変更の必要性 無	
		9	評価会議名称 横芝光町まち・ひと・しごと創生会議 評価年月日 令和7年6月16日 事業の評価 総合戦略のK P I 達成に有効であった 外部有識者からの意見 ・特になし	評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)
		10	評価会議名称 横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議 評価年月日 令和7年7月16日 今後の方針 事業の継続 今後の方針の理由 今後も計画どおり進める 計画変更の必要性 無	
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議 横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		

1	事業名	空き家関係条例等整備事業		担当課	都市建設課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 安心して暮らせる魅力的なまちをつくる				
		具体的な施策	(4) 空き地・空き家対策				
		項目	① 空き地や空き家の把握と管理対策の強化				
		掲載ページ	33 頁	重点への位置づけ	—		
3	事業概要	今後の人口減少に伴い増えることが懸念される空き家への対応として、空き家対策基本計画に基づく条例の整備や、空き家の具体的な利活用に向け、全国版空家バンク等への登録を促進する。					
4	事業年度	令和4年度～令和5年度					
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	空家条例の整備の必要性について協議した。				
		R3年度実績	空家条例の整備について、空家等対策協議会に諮るための方針を協議し、条例を整備するための情報収集として県主催の空家等対策検討部会に参加することを決定した。				
		R4年度実績	空家条例の整備に向け調査、研究を行った。また、県主催の空家等対策検討部会に参加し、他市町村による先進事例等の情報収集を行った。				
		R5年度実績	空家条例の整備に向け調査、研究を行った。また、県主催の空家等対策検討部会に参加し、他市町村による先進事例等の情報収集を行った。				
		R6年度計画	(令和6年度以降は「空き家バンク」整備事業へ統合し、空家対策総合事業として取り組む。)				
		R7年度計画					
6	事業費	年度	計画(千円)		実績(千円)		
			事業費	うち特定財源	事業費	うち特定財源	
		2	0		0		
		3	0		0		
		4	0		0		
		5	0		0		
		6	-		-		
		7	-		-		
計	0		0				
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	空き家条例の整備【1件】	目標2		
			計画	実績	計画	実績	
		2		0			
		3		0			
		4		0			
		5	1	0			
		6	-				
		7	-				
		計	1 件	0 件	0 人	0 人	
			進捗率	0.00 %	進捗率	#DIV/0! %	
確認方法	空き家条例の制定し、空家対策を促進する。						

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
			評価年月日	令和3年6月24日	
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	
			外部有識者からの意見	特になし	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日	
			今後の方針	事業の継続	
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	
			計画変更の必要性	無	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	
	評価年月日	令和4年7月22日			
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			
	外部有識者からの意見	・特になし			
4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
	評価年月日	令和4年8月17日			
	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める			
	計画変更の必要性	無			
5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)		
	評価年月日	令和5年7月7日			
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			
	外部有識者からの意見	・特定空き家を規定した場合は十分に周知すること			
6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			
	評価年月日	令和5年8月17日			
	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める			
	計画変更の必要性	無			
7	評価会議名称			評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)	
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
8	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
	計画変更の必要性				
9	評価会議名称		評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)		
	評価年月日				
	事業の評価				
	外部有識者からの意見				
10	評価会議名称				
	評価年月日				
	今後の方針				
	今後の方針の理由				
	計画変更の必要性				
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	空家対策総合事業 (～R5「空き家バンク」整備事業)			担当課	都市建設課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 安心して暮らせる魅力的なまちをつくる					
		具体的な施策	(4) 空き家対策					
		項目	① 空き家の把握と管理対策の強化					
		掲載ページ	33 頁	重点への位置づけ	—			
3	事業概要	今後の人口減少に伴い増えることが懸念される空き家への対応として、空き家対策基本計画に基づく条例の整備や、空き家の具体的な利活用に向け、全国版空家バンク等への登録を促進する。						
4	事業年度	令和2年度～令和7年度						
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	全国版空家バンク(LIFULL)へのユーザー登録を行い、昨年度行った登録希望調査に基づき登録を行った。空家バンクへの掲載にあたっては、仮登録状態の掲載画面を登録希望者にDMで確認したうえで空家バンクへの掲載を行った。					
		R3年度実績	住宅地図作製業者より空家候補地情報を購入し、令和5年度実施予定の空家等実態調査の根拠資料を作成した。					
		R4年度実績	空家バンクの新規掲載件数を増加させるため、空家所有者に送付する令和5年度固定資産税納税通知に空家バンクの勧奨案内を同封するための準備をした。また、他市町村の先進事例等について調査、研究を行った。					
		R5年度実績	空家バンクの新規掲載件数を増加させるため、空家所有者に送付する令和5年度固定資産税納税通知に空家バンクの勧奨案内を同封し、新たに登録件数が4件増加した。また、空家等対策計画更新を目的とし、空家等実態・意向調査を業務委託により実施、横芝光町全域の空家の状況の把握をした。この際に、空家の現況についてアンケート方式で調査を行い、今後の管理方法や空家バンクへの登録希望についても意向を確認した。					
		R6年度実績	令和5年度に行った空家等実態・意向調査の結果を基に、空家等対策協議会に諮り、空家等対策計画の更新した。また、空家バンクの新規掲載件数増加および空家の適正管理促進のため、空家所有者に送付する固定資産税納税通知に、空家管理についての案内を同封した。					
		R7年度計画	令和6年度に更新した空家対策計画を基に、具体的な空家対策事業の施行に向け条例整備を行う。また、空家バンクの新規掲載件数増加および空家の適正管理促進のため、空家所有者に送付する固定資産税納税通知に、空家管理についての案内を同封する。					
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		2	154	77	基金	58	29	基金
		3	929	464	基金	696	348	基金
		4	63	31	基金	18	9	基金
		5	7,712	3,856	基金	6,976	3,488	基金
		6	144	72	基金	86	43	基金
		7	144	72	基金			
計	9,146	4,572		7,834	3,917			
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	空家バンク登録件数【12件】		目標2	空き家の把握【486件／累計】	
			計画	実績		計画	実績	
		2	2	8		461	456	
		3	2	0		0	0	
		4	2	1		0	0	
		5	2	4		208	208	
		6	2	0		0	0	
		7	2	0		0	0	
		計	12 件	13 件		669 件	664 件	
		進捗率	108.33 %		進捗率		99.25 %	
確認方法	空家バンクへの情報提供・登録件数			R5：空家等実態調査				

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)
		評価年月日	令和3年6月24日		
		事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	特になし	
		外部有識者からの意見	特になし		
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	検討した内容を踏まえ、現段階では所有者への事業の周知が有効と判断し、空家所有者宛の固定資産税納税通知に空家バンクの勧奨案内を同封することとした。
		評価年月日	令和3年8月17日		
		今後の方針	事業の継続		
		今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
		評価年月日	令和4年7月22日		
事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	・空き家情報の提供など、移住相談員との連携検討 ・今後取り込もうとしている人口に対応する空き家活用方法 ・空港機能強化を踏まえた利活用啓発			
外部有識者からの意見	特になし				
4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	意見を踏まえ、取組方法を再検討した上で、積極的な取組を検討する		
評価年月日	令和4年8月17日				
今後の方針	事業内容の見直し(改善)				
今後の方針の理由	意見を踏まえ、取組方法を再検討した上で、積極的な取組を検討する				
5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)		
評価年月日	令和5年7月7日				
事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	・空家バンク掲載に対する理解を得やすい環境整備の検討			
外部有識者からの意見	特になし				
6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	現状の空き家問題を案内通知やホームページ等で周知し、空き家バンクを通して空き家の利活用をすることの重要性を理解していただく環境を整備することとした。		
評価年月日	令和5年8月17日				
今後の方針	事業の継続				
今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める				
7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)		
評価年月日	令和6年6月28日				
事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	・固定資産税納税通知書に、法改正による空家のデメリット(税軽減なし等)を伝え活用を促す通知の同封			
外部有識者からの意見	特になし				
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	これまで送付していた、固定資産税納税通知書同封チラシに住宅特例措置の除外をはじめとする特定空家、管理不全空家等に認定された場合のデメリットを伝える表現を追加し、令和7年度の送付に向け準備した。		
評価年月日	令和6年8月8日				
今後の方針	事業の継続				
今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める				
9	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)		
評価年月日	令和7年6月16日				
事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	・特になし			
外部有識者からの意見	特になし				
10	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	特になし		
評価年月日	令和7年7月16日				
今後の方針	事業の継続				
今後の方針の理由	今後も計画どおり進める				
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議			
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議			

1	事業名	広域連携創生事業			担当課	企画空港課		
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 安心して暮らせる魅力的なまちをつくる					
		具体的な施策	(5) 自治体連携による総合戦略の推進					
		項目	① 山武都市広域圏の連携					
		掲載ページ	34 頁	重点への位置づけ	—			
3	事業概要	山武市・多古町・芝山町・横芝光町の4市町は、成田空港の近傍に位置するものの、4万人の雇用を持つ成田空港への就業率は低い状態である。成田空港の更なる機能強化に伴うメリットを最大限活用するため、国や千葉県地域連携施策を活用しつつ、近隣自治体間の連携、空港との連携を深め、広域的な課題の解決や戦略的相互関係の構築に努める。						
4	事業年度	令和2年度～令和7年度						
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	成田空港南側圏グローバル人材育成事業による広域連携事業として教育補助事業を実施した。また、地域における課題解決を促進させるために、広域連携で取り組むことが効果的な事業を検討した。また、成田空港への就業促進のため、町内小学6年生を対象に周遊フライト事業を実施した。 ・空港南側圏担当者会議 3回 ・周遊フライト事業 1回（町内小学校6年生対象）※山武市、多古町実施。 参考：地方創生推進交付金（先駆型/補助率1/2/広域）採択実績あり。 事業名：成田空港南側圏グローバル人材育成事業 事業主体：山武市、芝山町、横芝光町、多古町 事業期間：平成28年度～令和2年度					
		R3年度実績	地域における課題解決を促進させるために、広域連携で取り組むことが効果的な事業を検討した。また、令和2年度で地方創生推進交付金対象事業は終了したが、引き続き、空港南側圏4市町（山武市、芝山町、横芝光町、多古町）で連携し、成田空港への就業促進のため、空港関連産業に従事する関係者の講話授業を、小中学生向けに実施した。 ・空港南側圏担当者会議 3回 ・航空講話事業 中学校1校 小学校5校 ※航空講話事業は新型コロナウイルスの影響により、各学校タブレットを活用したオンラインによる講話授業を実施した。 ※周遊フライト事業は、町内6年生を対象に町単独で計画したが新型コロナウイルスの感染状況等により未実施となった。					
		R4年度実績	地域における課題解決を促進させるために、広域連携で取り組むことが効果的な事業を検討した。また、成田空港への就業促進のため、山武市・芝山町・多古町・横芝光町が共同して空港関連産業に従事する関係者の講話授業を、小中学生向けに実施した。また、町内小学6年生を対象に周遊フライト事業を実施した。※9月補正予算にて対応 ・空港南側圏担当者会議 2回 ・航空講話事業 中学校2校 小学校5校 ・周遊フライト事業 1回（町内小学校6年生対象）					
		R5年度実績	地域における課題解決を促進させるために、広域連携で取り組むことが効果的な事業を検討する。また、成田空港への就業促進のため、山武市・芝山町・多古町・横芝光町が共同して空港関連産業に従事する関係者の講話や職場見学を、小中学生向けに実施した。また、町内小学6年生を対象に周遊フライト事業を実施した。 ・空港南側圏担当者会議の開催 2回 ・航空講話事業 中学校2校 小学校5校 ・周遊フライト事業 1回（町内小学校6年生対象）※9月補正予算にて対応					
		R6年度実績	地域における課題解決を促進させるために、広域連携で取り組むことが効果的な事業を検討する。また、成田空港への就業促進のため、山武市・芝山町・多古町・横芝光町が共同して空港関連産業に従事する関係者の講話や職場見学を、小中学生向けに実施する。 ・空港南側圏担当者会議の開催 2回 ・空港見学 3校（上堺小、横芝小、光小） ・航空講話事業 中学校2校、小学校5校 ※9月補正予算にて対応					
		R7年度計画	地域における課題解決を促進させるために、広域連携で取り組むことが効果的な事業を検討する。また、成田空港への就業促進のため、山武市・芝山町・多古町・横芝光町が共同して空港関連産業に従事する関係者の講話や職場見学を、小中学生向けに実施する。 ・空港南側圏担当者会議の開催 ・空港見学・航空講話事業					
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		2	3,364	3,027 空港	3,362	3,025 空港		
		3	300	150 基金	0	0		
		4	300	150 基金	4,518	4,055 空港		
		5	300	150 基金	5,083	4,568 基金・空港		
		6	300	150 基金	5,499	4,855 基金・空港		
		7	300	150 基金				
計	4,864	3,777		18,462	16,503			
7	重要業績評価指標 (KPI)	年度	目標1	山武都市広域圏の連携事業の維持【1】	目標2			
			計画	実績	計画	実績		
		2	1	1				
		3	1	1				
		4	1	1				
		5	1	1				
		6	1	1				
		7	1					
		計	6	5	0 人	0 人		
			進捗率	83.33 %	進捗率	#DIV/0! %		
	確認方法							

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)	
			評価年月日	令和3年6月24日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	令和4年1月27日 実施で関係機関と調整 を図っていたが、新型 コロナウイルスの感染 拡大の状況を鑑み延期 とし、再度小学校の日 程調整を行った結果、 学校行事等により日程 が確保できず未実施と なった。	
			外部有識者からの 意見	・周遊フライト事業の継続検討		
			2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和3年8月17日		
			今後の方針	事業の継続		
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
			計画変更の必要性	無		
			3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)
		評価年月日	令和4年7月22日			
		事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	新型コロナウイルスの 影響により空港見学は 実施不可となり、対面 形式による航空講話を 実施した。		
		外部有識者からの 意見	・コロナ収束後は空港を訪れてのリアルイベ ント実施 ・オンラインとオフラインのハイブリット型イ ベント検討			
		4	評価会議名称		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
		評価年月日	令和4年8月17日			
		今後の方針	事業の継続			
		今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める			
		計画変更の必要性	無			
		5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)	
			評価年月日	令和5年7月7日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	令和6年1月16日に町 内小学6年生を対象に 周遊フライトを実施し た。	
			外部有識者からの 意見	・周遊フライト実施の検討 ・成田空港に向いての事業実施を検討		
			6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和5年8月17日		
			今後の方針	事業の継続	令和5年度も空港見 学の受け入れ不可だっ たため実施できず、昨 年度同様に各学校にて 対面形式の講話事業を 実施した。	
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める		
			計画変更の必要性	無		
			7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)
			評価年月日	令和6年6月28日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった	転出者アンケートから は、一部の単身者は職 場近居を理由に成田市 へ転出している。ま た、統計からは、山武 市や匝瑳市への勤務が 多い。引き続きアン ケートと分析を行い、 関連する事業が課題解 決へつながらよう実施 していく。	
			外部有識者からの 意見	・空港就業率が低い原因調査 ・関連事業の関係性の整理		
			8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議	
			評価年月日	令和6年8月8日		
			今後の方針	事業の継続		
			今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める		
			計画変更の必要性	無		
			9	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)
			評価年月日	令和7年6月16日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
			外部有識者からの 意見	・特になし		
			10	評価会議名称		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議
			評価年月日	令和7年7月16日		
			今後の方針	事業の継続		
			今後の方針の理由	今後も計画どおり進める		
			計画変更の必要性	無		
9	備 考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議				
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				

1	事業名	千葉大学包括連携事業		担当課	企画空港課			
2	総合戦略の位置付け	基本目標	4 安心して暮らせる魅力的なまちをつくる					
		具体的な施策	(6) 多様な連携の強化					
		項目	① 大学との連携					
		掲載ページ	34 頁	重点への位置づけ	—			
3	事業概要	千葉大学と包括連携協定を結び、地域の課題解決に向けた施策を、官学連携の基に推進する。						
4	事業年度	令和2年度～令和7年度						
5	取組実績と今後の予定	R2年度実績	JR横芝駅前、町においてロータリー整備やヨリドコロ開設を行い整備を進めているが、通勤利用者や来訪者等の駅利用者にとって、町の玄関口としてより利用しやすく親しみやすい駅となるよう、更なる駅周辺の景観整備を行っていくことを視野に千葉大学との調査研究を行った。 また、町職員の資質向上を目的として、シティマネージャーによるRESAS講座を実施した。 ・調査研究業務委託料 880,000円(一式) ・シティマネージャー報酬 270,000円(9回)					
		R3年度実績	町が面する海は、海水浴客やサーファーなどを呼び込む自然資源である。この沿岸部に位置するこどもの国跡地周辺には、マリンピア公園、蓮沼ウォーターガーデン、蓮沼海浜公園など集客性の高い施設があり、観光振興を進める上で高いポテンシャルを有しているとして、町土地利用ビジョンにおいて、こどもの国跡地の有効活用を重点戦略として掲げている。このため、こどもの国跡地の有効活用について、千葉大学が有する知見、技術、情報、資源等を活用しながら、地域における雇用創出及び若者定着に結びつけるための方策を検討調査した。 また、町職員を対象に、シティマネージャーによるSDGs勉強会を開催し、行政課題の解決にあたっては、多様なステークホルダーの連携強化が必要であることを再認識する機会を設けた。 ・調査研究業務委託料 880,000円(一式) ・シティマネージャー報酬 330,000円(11回)					
		R4年度実績	定住人口獲得につなげる第一歩として、若い世代の方に当町を知ってもらい、興味や関心を持って訪れたいと望んでもらえるよう、Youtube横芝光町公式チャンネルで配信するためのタウンプロモーション動画の企画制作を千葉大学生に依頼し、同世代に向けた12本の動画とこれに係る周知用のリーフレットを作成した。 また、動画制作に当たっては、多様な主体の連携による事業推進を目的に、シティマネージャーを中心としたプラットフォームを組織した。 ・調査研究業務委託料 880,000円(一式) ・シティマネージャー報酬 420,000円(14回)					
		R5年度実績	国のデジタル田園都市国家構想を受け、横芝光町におけるDXを活用した生活の質の向上及び持続可能な町づくりの可能性や課題について、横芝光町の現在のDX活用状況や課題の把握、他のDX活用参考事例の整理及び横芝光町におけるこれからのDXまちづくりメニュー整理とプロジェクト提案等に関し、千葉大学と調査、研究を行った。研究成果から9つの分野の18の事例を参考とし、交通DX、防災DX及び町なかDXの3つの提案を横芝光町での活用に検討していく。 ・調査研究業務委託料 880,000円(一式) ・シティマネージャー報酬 360,000円(12回)					
		R6年度実績	まちづくりの観点の一つに「ウェルビーイング指標」があり国において地方自治体へ活用を促しているところであることから、町民のウェルビーイング(幸福度や生活の質)を包括的に評価し、横芝光町のウェルビーイングを向上することを目的に調査研究を行った。 また、町職員を対象に、シティマネージャーによるウェルビーイングの理解促進と指標活用を目的とした研修を実施した。 ・調査研究業務委託料 880,000円(一式) ・シティマネージャー報酬 390,000円(13回)					
		R7年度計画	地方創生のために、千葉大学及び町のそれぞれが有する知見、技術、情報、資源等を活用しながら、地域における雇用創出及び若者定着に結びつけるために、必要な取り組みを検討調査する。					
6	事業費	年度	計画(千円)			実績(千円)		
			事業費	うち特定財源		事業費	うち特定財源	
		2	880	440	基金	1,150	575	基金
		3	1,330	665	基金	1,210	605	基金
		4	1,330	665	基金	1,300	650	基金
		5	1,360	680	基金	1,240	620	基金
		6	1,300	650	基金	1,270	635	基金
		7	420	210	基金			
		計	6,620	3,310		6,170	3,085	
7	重要業績評価指標(KPI)	年度	目標1	包括連携事業による研究数【1件/年】		目標2		
			計画	実績	計画	実績		
		2	1	1				
		3	1	1				
		4	1	1				
		5	1	1				
		6	1	1				
		7	1					
		計	6 件	5 件	0 人	0 人		
			進捗率	83.33 %	進捗率	#DIV/0! %		
	確認方法							

8	K P I 評価履歴	1	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和3年度実績)	
			評価年月日	令和3年6月24日		
			事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった		
			外部有識者からの意見	・シティマネージャーの多様な連携強化への参画	・多様な連携強化に資するよう、勉強会を通して、庁内におけるシティマネージャーと職員との関係構築を図った。	
		2	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議		
			評価年月日	令和3年8月17日		
			今後の方針	事業の継続		
				今後の方針の理由	今後も計画どおり進める	・シティマネージャーを中心に総務課、産業課、企画空港課と町民及び町内事業者から構成するプラットフォームにおいて、魅力発信事業を実施した。 ・シティマネージャーによるものではないが、千葉県が自治体職員向けに配信したSDGsオンラインセミナーについて周知し、職員の地方創生に関する学習機会を提供した。
				計画変更の必要性	無	
		3	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和4年度実績)	
	評価年月日	令和4年7月22日				
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった				
	外部有識者からの意見	・各職員が自分事として地方創生を捉えられるよう継続した勉強会等の実施				
4	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				
	評価年月日	令和4年8月17日				
	今後の方針	事業の継続				
	今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める				
		計画変更の必要性	無			
5	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和5年度実績)			
	評価年月日	令和5年7月7日				
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった				
	外部有識者からの意見	・町内事業者からなるプラットフォームの活用 ・研究テーマに合わせ複数年とすることを検討	・プラットフォームの活用及び研究が継続発展していくよう検討をしていく。			
6	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				
	評価年月日	令和5年8月17日				
	今後の方針	事業の継続				
		今後の方針の理由	意見を踏まえ、今後も計画どおり進める			
		計画変更の必要性	無			
7	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議	評価会議を踏まえた対応 (令和6年度実績)			
	評価年月日	令和6年6月28日				
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった				
	外部有識者からの意見	・特になし				
8	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				
	評価年月日	令和6年8月8日				
	今後の方針	事業の継続				
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める				
	計画変更の必要性	無				
9	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議		評価会議を踏まえた対応 (令和7年度実績)		
	評価年月日	令和7年6月16日				
	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった				
	外部有識者からの意見	・特になし				
10	評価会議名称	横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				
	評価年月日	令和7年7月16日				
	今後の方針	事業の継続				
	今後の方針の理由	今後も計画どおり進める				
		計画変更の必要性	無			
9	備考	横芝光町まち・ひと・しごと創生会議				
		横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部会議				